

選択科目(地理歴史) 日本史

(出題内容・形式・配点) * 出題内容、問題番号、配点は2月2日実施分です。

内容	形式	配点	試験時間
I 文化財と遺跡	記述	40	80分
II 古代・中世の政治史	記述	30	
III 近世・近代の統治システム	記述	30	
合計		100	

【出題の基本方針】

基本的には教科書を中心とした学習を積み重ねることで得点できる内容・レベルの出題とした。一部教科書には掲載されていない史料を使用している問題もあるが、教科書レベルの内容を理解していれば解答できるように工夫してある。

出題範囲は、基本的にIは原始・古代、IIは中世・近世、IIIは戦後史を含む近現代史とし、複数の時代をまたぐ総合的問題やテーマ出題もおこなった。また、史料・図版・写真・歴史地図などを使用した設問など、歴史用語・人物・年代の丸暗記ではなく、歴史の流れや知識を論理的に考えることで正答に至るように工夫した。

【学習のポイント】

- ・政治・経済・社会・文化史などの諸分野を幅広く学習することが重要である。
- ・教科書を中心に諸事件・事象の流れと関係を論理的・文脈的に把握することが重要である。それと同時に教科書や史料集に所載されている図版・表・写真などにも注意を向けてほしい。
- ・史料集と教科書を併用することは極めて効果が高い。その史料の趣意を記した重要箇所は、用語を含めて内容を正確に理解しておきたい。また歴史地図などにも親しみ、地理的・立体的な知識の習得を心がけてほしい。
- ・漢字のミス、不正確な記述が目立つ。事象・人名などを含めた歴史用語は正確な漢字を書く力を養う必要がある。
- ・近年、戦後史の問題も一定程度の割合を占めている。今後はその系統立った正確な知識の習得が必要となるであろう。